

いのちの言の葉 2016

富山県教育委員会 平成28年度いのちの教育総合支援事業

いのちの先生「車いすバスケットボールのスポーツ選手」

目標や夢に向かって（道徳）
射水市立大島小学校
平成28年7月6日実施

射水市立放生津小 6/23・11/8

射水市立中太閤山小 7/7、南砺市立上平小 10/31
氷見市立久目小 1/12、立山町立立山北部小 6/29
においていのちの授業が行われています。

【授業の概要】

- ① 車いすバスケットボールの実演(ドリブル、パス、シュート)
- ② 競技用の「車いす」や「ルール」等の話
- ③ 東京パラリンピック出場という夢に向かって努力していること



児童から保護者へ

家族に支えられ、車椅子バスケットボールをいきいきとしておられる話を聞いて、自分も家族に支えてもらっていることに改めて気付きました。

保護者から児童へ

あなたは生まれる前からいろいろな人に支えられていました。そして今、あなたがいきいきと生きていてくれることが、あなたを支えてくれた人の支えになります。あなたの笑顔が、これから出会う人たちの支えになることでしょう。

児童から保護者へ

これからの生活で困ったこと、つらいことがあっても希望をもって生きていきたいと思いました。これからたくさんの人に支えてもらうと思うけれど、感謝を忘れずに過ごしていきたいです。

保護者から児童へ

車椅子バスケットボールでがんばっている選手の方々は、努力をされたからこそ、カッコいいプレーができます。一日一日を大切に惜しめない努力を続ければ、きっと明るい明日や未来が待っていることでしょう。